

委員会事業

栃木県を取り巻く諸問題について、委員会において、調査・研究活動を行い、その成果を栃木県に提言するなど、栃木県の発展と活力ある産業界の醸成に貢献している。これまでに70有余にのぼる政策提言や研究報告を行い、行政施策に取り入れられた。

令和8～9年度 委員会活動方針

日本を取り巻く社会・経済環境の変化

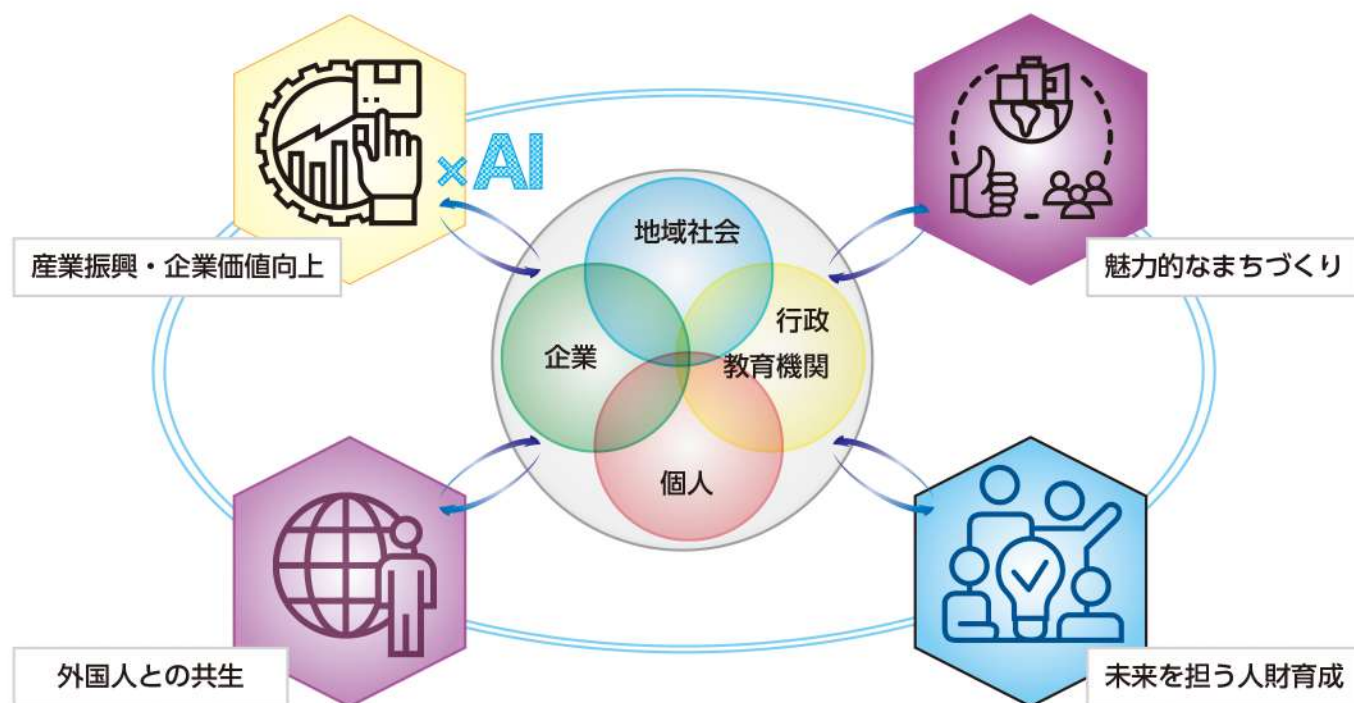
社会環境の変化

急速な少子・高齢化、**人口減少**、**人財不足**、**外国人労働者の増加**、**生成AI**の普及、国民の**意識の変化**、若年層の**転出超過**

経済環境の変化

地政学的リスクの増大、**不確実性**、日本の国際的**プレゼンスの低下**、コストプッシュ型インフレ

【令和8～9年度 委員会活動方針】
人をつなぎ、共に創るとちぎの未来
～人口減少問題の克服に向けて～



栃木県の発展と活力ある産業界の醸成

委員会事業

令和8～9年度の委員会・研究会の活動テーマ

常設委員会

産業振興委員会

中小企業は、人口減少と少子高齢化に伴う深刻な労働力不足に直面している。加えて、日本の労働生産性は国際間で比較すると決して高いとは言えず、国際競争力の低下は地域経済にとっても大きな課題である。人口減少社会において持続的な経済成長を実現する一つの方策としては、生成AIをはじめとする最新技術を積極的に導入し、業務の効率化と付加価値創出力を高めることが考えられる。同時に、ウェルビーイングや多様性の取り組みなど人的資本経営の推進に通じる環境整備も求められる。

本委員会では、「生産性向上に向けた最新技術の利活用」と「人的資本経営に通じる環境整備」の二つの視点から調査研究を行う。

共生社会推進委員会

本県では、外国人労働者の受け入れが進み、製造業や農業、介護、サービス業等、幅広い分野で外国人材が活躍している。また、東南アジアを中心に留学生も増加し、日本語や日本文化、日本のサービスを学ぶ動きが広がっている。一方で、言語の壁や生活支援、労働環境の整備、外国人コミュニティの形成、地域社会との交流促進等、解決すべき課題も少なくない。

本委員会では、日本語教育や生活支援の充実、受け入れ体制の強化、行政・企業・地域の連携を進めることで、外国人が安心して活躍し、住み続けられる共生社会の実現に向けた調査研究を行う。

行財政改革委員会

地方自治体は、人口減少に伴う人材や税財源の不足、自然災害の激甚化等、深刻な課題に直面しており、従来の延長線上では行政サービスの維持が困難となる可能性がある。こうした状況の中で、地方行財政の持続可能性をいかに確保していくかは、地域経済の基盤を守るうえで極めて重要な課題である。

本委員会では、生成AI等を活用した行政のデジタル化による業務効率化とサービス向上、自治体間の広域連携の在り方、さらには首都直下地震等の大規模災害に備えたバックアップ機能について、本県の将来を見据えた実効性ある提言に向けた調査研究を行う。

地域活性化委員会

人口減少や価値観の多様化が進む中で地域の未来を切り拓くためには、「栃木をより深く知り、周囲にも知ってもらう」ことを活動の根幹に据え、地域の文化、技術、自然、食、人の営みといった魅力を再発見し、新たな視点と発信力で磨き上げていくことが求められている。那須烏山の手すき和紙や鹿沼の組子細工等、全国に誇る伝統的な資源を現代の価値観と結び付け、新たな魅力として県内外へ発信することも重要である。

本委員会では、栃木の魅力を再発見するとともに、多様な担い手との協働やデジタル技術との連携による発信を通じ、誇りと活力が循環する地域づくりに資する調査研究を行う。

次世代人財育成委員会

教育現場からは、探究学習等で企業の協力を得たいものの相談先が分からないとの声が多く聞かれる。一方、企業側にも生徒や教職員に自社を知ってもらいたいとの意向があり、双方のニーズは一致しているにもかかわらず、それを結びつける仕組みが十分に機能していない点が課題である。

本委員会では「教育界と経済界の橋渡し」を活動の柱とし、他県の先進事例や連携授業の内容調査、教育委員会や学校現場への意見聴取を通じ、栃木県における望ましい協力体制の在り方を検討する。あわせて、教育界への理解促進と地元企業の魅力発信につなげるべく調査研究を行う。



委員会風景

研究会

未来経営研究会

SDGsが国連で採択され、2030年の目標年が目前に迫る中、企業には環境・社会・経済の課題解決に主体的に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献する姿勢が一層求められている。一方、気候変動や地政学リスク、資源問題、技術革新、労働力不足等により、企業経営を取り巻く環境の不確実性は高まっている。こうした状況において、企業の稼ぐ力とESGを両立させるサステナビリティ・トランスフォーメーション(SX)の視点は、持続的な企業価値創造に不可欠である。

本研究会では、SXに加えGXやDXの観点も取り入れ、勉強会や視察を通じて先進事例を学び、サステナブル経営に必要な考え方や手法の調査研究を行う。



未来経営研究会視察

栃木交流研究会

本研究会は、栃木県の歴史、文化、観光等について調査・研究を行い、「栃木の魅力」を県内外に積極的に発信することを目的として活動している。自然、歴史、文化、技術力等を実際に体験する機会を通じ、多様な角度から栃木の価値を理解し、魅力を効果的に伝える調査研究を行う。



栃木交流研究会視察